

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
107	107	国際交流事業	01	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			07	07	文化振興費
担当部課名		企画振興部 文化国際課	102	102	国際交流推進事業費
作成者氏名	松本博臣	連絡先	22-9624	01	国際交流推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	国際交流協会、伊賀市民及び伊賀市在住の外国人	日本人と在住外国人との交流により相互理解が深められる。在住外国人の生活相談を通じて在住外国人の生活安定が進む。
本年事業内容	国際交流協会へ委託 ・国際交流フェスタ ・多文化理解講座 ・広報「いが」のポルトガル語翻訳版の発行 ・在住外国人共生事業(生活相談・生活オリエンテーションほか)	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2	2	2.5
人件費合計(A)	14,400	14,400	18,000
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,324	5,810	14,122
委託料	4,000	2,450	8,195
報酬	0	1,308	3,920
その他	324	2,052	2,007
合計(A+B)	18,724	20,210	32,122
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他特財	0	0	0
一般財源	18,724	20,210	32,122
上記①～③に関する特記事項			
②19年度6協会統一による増、職員臨時2名分計上 18年度から多文化共生嘱託員配置			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
国際交流協会会員数	人	185	190	550			
国際交流協会会員数(団体)	団体	53	55	60			
国際国流フェスタ参加者数	人	400	450	520			
多文化理解講座	回	8	10	10			
相談件数	件	402	440	480			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
フェスタ参加者数の伸び率	対前年比17年度400/360,18年度450/400,19年度520/450	%	10 目標 (10)	12	15
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人は年々増加しており人口の約4.7%となり約4800人が在住している。伊賀市における製造業を初めとする工場の労働力として大きな比重を占めている。多文化共生事業は、国際交流から生活安定施策が急務であり行政全体での取り組みが多く生じている。 国際交流協会の統一について協議をしていく。また、統一後の会員拡大を図り財源確保に努める必要がある
--

評価	必要性	4	国際交流協会、NPO、ボランティア団体と行政の協働がなければ増えつづける在住外国人との多文化共生事業は成り立たない。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	2		
	効率性	2		
				B